



# 塗装面用キズリペアシステム 取扱説明書

ご使用前に、取扱説明書とパッケージ記載の使用方法・使用上の注意を、必ずお読みください。また、以下の手順に従って使用してください。

## A) 使用できないもの：

QUIXX塗装面用キズリペアシステムは、自動車の塗装面やそれに類するオートバイのタンク、ヘルメットなどに使用できますが、以下の塗装面には使用しないでください。

### 1. ナノペイント加工及びセラミック塗装：

「キズ耐性」のナノペイント加工やセラミック塗装が施されている場合は、「QUIXX塗装面用キズリペアシステム」を使用しないでください。このような塗装の例として、メルセデス・ベンツの2005年以降に製造されたモデルの多くが挙げられます。そのような塗装加工が施されたメルセデス・ベンツの自動車には「040C」のように、カラーコードの後にCの文字が付いているため、それによって判別されます。ご不明な場合は、製造元や販売元にお問合せください。

### 2. マット仕上げ塗装：

マット仕上げ塗装が施されている場合は、「QUIXX塗装面用キズリペアシステム」が、キズだけでなく、塗装表面のつや消し構造まで除去してしまうため、使用しないでください。

### 3. 色付きのプラスチック部品：

自動車のバンパーやスポイラーなどのプラスチック部品の多くは、塗装が施されているように見えるものであっても、実際には塗装されていない場合も多く、その場合は、ボディなどの塗装色に合わせて染色されたプラスチックで作られています。色付きプラスチック部品の場合は、変色や変質する場合がありますため、「QUIXX塗装面用キズリペアシステム」を使用しないでください。塗装部品・色付き部品の判別や材質について、ご不明な場合は、製造元や販売元にお問合せください。

## B) 対応できない場合：

以下の状態の場合、「QUIXX塗装面用キズリペアシステム」では対応できない場合があります。ご使用の際は、ユーザー様の自己責任にてご判断頂き、ご使用ください。下記該当箇所にて起きた不具合につきましては、弊社では責任を負いかねます。

1. 再塗装の場合
2. クリアコートされていない塗装(ソリッド塗装もしくはワゴンコートと呼ばれる塗装仕上げなど)や、クリアコートが劣化している場合
3. タッチアップペイントを施した場合(完全に乾いていない場合など)
4. 劣化している塗装の場合(経年劣化している場合など)
5. その他、特殊な塗料、塗装の場合

## C) 実際の作業の前に必ずお試しください：

車輻や塗装、キズの程度などの状態によって効果や仕上がりは異なります。全ての状態においてキズリペア効果を保証するものではありません。実際の作業の前に一度目立たない部分(ドアパネルやトランクの内側など)で「QUIXX塗装面用キズリペアシステム」の全般をお試しになって、塗装に適していること、また効果や仕上がりを確認してから使用してください。この作業を行うには、E)使用方法:の2～5の手順に従って作業してください。この作業中に磨いた箇所の変色、色落ち、クロスへの塗装色の色移りがあった場合は、本来のキズリペア効果が得られないだけでなく、変色や変質の原因となりますので使用しないでください。

## D) キズの深さを確認してください：

### 1. 爪による確認方法：

キズに沿って垂直方向に爪を動かしてください。爪が引っかかることなく、キズの存在がほとんど感じられない場合は、浅めの傷対策をします。爪が引っかかり、キズの存在が明らかに感じられる場合は、キズは深く幅が広いということです。後者の場合は、「QUIXX塗装面用キズリペアシステム」によってキズを平らに変形させることはできません。修理専門業者に相談するか、キズを目立たなくするために、まず最初に塗装面に適した色のタッチアップペイントを使用することをお勧めします。タッチアップペイントを使用した場合は、完全に乾いていることを確認した上で「QUIXX塗装面用キズリペアシステム」を使用してください。またタッチアップペイントを使用してから「QUIXX塗装面用キズリペアシステム」を使用した場合でも、キズを平らに変形させることはできません。

### 2. 水による確認方法：

キズに水をかけることによって、どの塗装の層まで損傷しているかを判別することができます。キズは通常、白または灰色に見えます。キズに水をかけ、これによってキズがほとんど消えて本来の塗装色が現れるかどうか、あるいは、キズが白、灰色、メタリック色に見えるかどうかを確認します。

キズ深度表	水による確認方法で、元の色が認められる	水による確認方法で、元の色が認められない
爪が引っかかることなく、キズの存在がほとんど感じられない	仕上げ塗装が損傷しています。E) 使用方法の手順2～3を実施してください。キズが明らかに見える状態の場合は、手順1を実施してから、もう一度、手順2～3を実施します。キズが目立たなくなるまで、手順2～3を2～3度繰り返して、仕上げとして手順4～5を実施してください。	何かとぶつかってキズができた際に、キズの周辺にバリ(表面にできた不要な出っ張り)が出ている可能性があります。E) 使用方法の手順2～3を実施してください。キズが明らかに見える状態の場合は、手順2～3を2～3度繰り返して、仕上げとして手順4～5を実施してください。
爪が引っかかりキズの存在が明らかに感じられる	キズによって仕上げ塗装より深く損傷しています。この場合は、修理専門業者に相談するか、ボディに適合した色のタッチアップペイントを使用して完全に乾いた状態で、E) 使用方法の手順1～3を実施してください。キズが明らかに見える状態の場合は、手順2～3を2～3度繰り返して、仕上げとして手順4～5を実施してください。	キズによって仕上げ塗装より深く損傷しています。この場合は、修理専門業者に相談するか、ボディに適合した色のタッチアップペイントを使用して完全に乾いた状態で、E) 使用方法の手順1～3を実施してください。キズが明らかに見える状態の場合は、手順2～3を2～3度繰り返して、仕上げとして手順4～5を実施してください。

## 自動車の塗装構成(断面層)とキズの深さについて：

